

参加申し込みの方は、必要事項をご記入の上、お申し込みフォーム（広島県アートサポートセンターHP、もしくはQRコードからアクセス）、FAX、メール、電話にてお申し込みください。※定員に達し次第締め切ります。

申し込み締め切り ①2023年7月31日(月) ②8月31日(木) ③10月31日(火) ④11月17日(金)

セミナー&座談会+ワークショップお申込み用紙

フリガナ 氏名：	※学生の方は、学年もご記入ください。 所属名：
※当日連絡が取れる番号をご記入ください。 TEL：	FAX：
※パソコンからのメールを受信できるもの E-mail：	例) 手話通訳者が同席します。など 配慮事項：

参加希望のセミナー&座談会+ワークショップ：ご希望のものに○をつけてください。

- ① もしも「新しい表現活動をしたい」「絵を描きたくない」と言われたら **8月5日(土)** (セミナー&座談会)
- ② もしも「絵が欲しいよ(買いたいよ)」と言われたら **9月5日(火)** (セミナー&座談会)
- ③ もしも「書道がしたいよ」「きれいな字を書きたいよ」と言われたら **11月11日(土)** (セミナー&座談会+ワークショップ)
※セミナー&座談会のみ、ワークショップのみご参加も可能です。
- ④ もしも「アートって何?」って言われたら、そして思ったら **12月1日(金)** (セミナー&座談会)

参加方法：いずれかに○をつけてください。

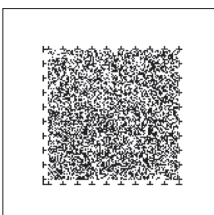
会 場 ・ オンライン

参加にあたってのご意見、ご質問がありましたら、ご記入ください。

■問い合わせ・申し込み先:認定NPO法人ひゅーるぽん 広島県アートサポートセンター

TEL 070-5671-8668 HP <https://hululu.jp> E-mail hululu@hullpong.jp

いただいた個人情報は厳重に保管し、本講座に関するご連絡以外の目的には使用いたしません。



FAX **082-831-6889**

もしも



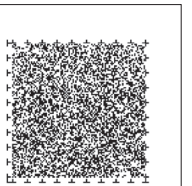
障がいのある方の表現活動に関わる人の
アートセミナー&座談会+ワークショップ

日々の生活や表現活動に取り組んでいく中で、急な要望を言われ、
どのようにしたら良いか悩んだ経験はないでしょうか?
そんな、あるかもしれない4つの「もしも」をテーマにセミナーを行います。



参加費

無料



1

アートセミナー&座談会

定員 20名程度

もしも「新しい表現活動をしたい」「絵を描きたくない」と言われたら

■内容:「表現活動をもっとしたいよ」と言われたり、順調に進んでいると思っている表現活動を「やめたい」と言われたらどのように返事をしますか。太田川学園の事例を通して、表現活動のサポートをする環境づくりについてみんなで考えます。

日時:2023年8月5日(土) 13:00~16:00

場所:東広島芸術文化ホールくらら 工作室(東広島市西条栄町7番19号)

対象:これから表現活動のサポートを始められる方・興味関心がある方

講師:取り組み発表 太田川学園 羽鳥 智裕氏
権利保護についてのアドバイス 弁護士 三浦 友美氏



羽鳥 智裕

1978年埼玉県出身 19歳の頃、北海道十勝郡で牛の世話や畑の手伝いをしたことから、土に触られる仕事を探す。造園業はすべて面接で落ちるが、たまたまそうとは知らずに架電した東京の老舗生花店に就職。以後、11年間勤める。2011年 東日本大震災を契機に、東京から広島へ移住。大家さんの紹介で太田川学園に入職。幼少時から、絵や粘土などの創作活動が好きで、継続して行っている。



三浦 友美(広島弁護士会 田村法律事務所)

広島県アートサポートセンターひゅるる協力委員
法律の専門家の立場から、障がいのある人のアート活動に関する権利や意思確認について、アドバイスしている。

2

アートセミナー&座談会

定員 20名程度

もしも「絵が欲しいよ(買いたいよ)」と言われたら

■内容:活動の作品展や展覧会の時に思いがけず「作品が欲しい」「買いたい」と言われたり、作品を製品化したいと言われたことはないでしょうか。そんなもしもの時に準備しておいた方がよいことを、鳥取県にある「アートスペースからふる」の事例を交えて学びます。

日時:2023年9月5日(火) 13:00~16:00

場所:ウッドワンさくらびあ 会議室(廿日市市下平良1丁目11-1)

対象:これから表現活動のサポートを始められる方・興味関心がある方

講師:取り組み発表:アートスペースからふる 理事長 妹尾 恵依子氏
権利保護についてのアドバイス 弁護士 三浦 友美氏

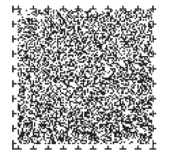
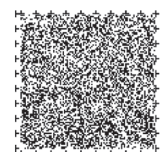


妹尾 恵依子

鳥取県鳥取市出身。鳥取大学教育学部中学校教員養成課程美術専攻卒業。鳥取県立白兔養護学校講師等を経て、2005年に障がい児者も通えるお絵かき教室「アートスペースからふる」を主宰。2014年にNPO法人の一部門となり就労継続支援B型事業所を開設。2019年に一般社団法人を設立し、中心市街地商店街で活動始める。2023年4月から共同事業体の代表としてあいサポート・アートセンターの運営も行う。



主催:広島県 実施主体:広島県アートサポートセンター・あいサポート・アートセンター(鳥取県)



3

アートセミナー&座談会+ワークショップ

定員 20名程度

もしも「書道がしたいよ」「きれいな字を書きたいよ」と言われたら

■内容:書には様々な表現方法や楽しみ方があります。「書」の表現を体験し楽しむこと、作品を通してアーティストの表現を感じていく体験をします。

日時:2023年11月11日(土) セミナー&座談会 13:00~15:00
ワークショップ 15:30~17:00

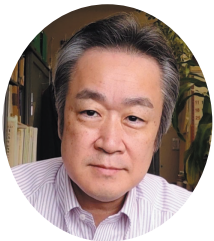
場所:広島市東区民文化センター 美術工芸室(広島市東区東蟹屋町10-31)

対象:(セミナー&座談会)障がいのある方の表現活動をサポートしている方・関心のある方
(ワークショップ)障がいのある方・障がいのある方の表現活動をサポートしている方・関心のある方

講師:広島大学 大学院人間社会科学研究科・教授
教育学部 副学部長 松本 仁志氏

松本 仁志

広島大学大学院人間社会科学研究科・教授。教育学部副学部長。全国大学書写書道教育学会・理事長。平成29年版小学校学習指導要領(国語)・専門的作業協力者。主な著書に「筆順のはなし」中央公論新社、「書くこと」の学びを支える国語科書写の展開」三省堂などがある。



4

アートセミナー&座談会

定員 30名程度

もしも「アートって何?」って言われたら、そして思ったら

■内容:自分では「理解しがたい」他者の行為やデキゴトに対して「なんでそなんん!」と、ツッコミを入れて面白く捉え直す「なんでそなんんプロジェクト」。プロジェクトの活動や、実施団体である「ぬか つくるところ」の取り組みを通して「アートの考え方」についてみんなで考えていきます。

日時:2023年12月1日(金) 13:00~16:00

場所:合人社ウエンディひと・まちプラザ 研修室C(広島市中区袋町6番36号)

対象:障がいのある方の表現活動をサポートしている方・関心のある方

講師:ぬか つくるところ 代表 中野 厚志氏



中野 厚志

山口県防府市生まれ。生活介護事業所「ぬか つくるところ」代表。福祉系の大学を卒業後、15年間岡山県内の障がい者支援施設に勤務。そのころから障がいを持った人たちから生み出される数々のモノたちに衝撃を受ける。2013年12月、仲間とともに岡山県都窪郡早島町の築100年以上の蔵を改装した建物で「ぬか つくるところ」を立ち上げ、現在に至る。アートを一つの媒体として、個々の個性や特性をうま味に変化すべく、現在発酵中。愛称はクロンさん。

セミナー等は会場とオンラインの同時開催です。

※オンラインにかかる通信料は参加者のご負担となります。

■セミナー等の記録、公開とアンケート協力をお願い■

・セミナー等の様子を写真や映像として撮影し、後日、広島県アートサポートセンターのホームページやYouTubeチャンネルにて公開したいと考えております。ご協力いただけますと幸いです。

・セミナー等終了後に、調査と今後の活動の参考にするため、アンケートへの回答をお願いします。

